

www.foro.jp

フォースクール フォロ foro News Letter

みなさま、新年あけましておめでとうございます。
2004年もみなさまの力に支えられて、フォロではさまざまな活動を広げたり深めたりできました。おかげさまで創立4回目のお正月を、20数人の子どもたちと迎えることができます。本当にありがとうございます。

ここ3カ月くらいで、大阪府委託の財団からの支援を得ることができ、子どもたちの活動の幅がぐんと広がりました。こうしてみると、あらためて「学校に行っていないから……」と諦めていたことが、まだまだ多いことに気づきます。11月には、近辺の親の会などといっしょに集会「いのちと生きること」を開きましたが、約200人の参加があり、子どもたちの声にもっと耳を傾けながらやっていきたいと思いを新たにしました。

2005年も、より子どもたち一人ひとりの思いに添った「場」づくりを目指していきたいと思えます。引き続きでの応援を、どうぞよろしく願いいたします。

2005年1月1日
特定非営利活動法人フォロ
代表理事 花井紀子



ボイスタイム座談会のようす(3面に記事)

OBメンバーから いま、振り返ってみて

P.N. タコ (16歳/中学の2年間フォロ会員)

僕は、現在、奈良の芸術系の高校に通っています。フォロには2年間通ってました。今でもときどき訪ねることがあります。僕が持っているフォロのイメージは、学校とはちがう学びの場だと思っています。学びっていうと堅苦しいですが、学校は基本的に、決められた時間に決められた科目をやっていきますが、フォロでは、自分で決めて行きたい企画や講座に出れます。そこから興味をもって読んだ本とか、何かしたことは、けっこうあります。あと、スタッフ・ボランティアの方々や、通

ている人たちと関わって知ったことや得たことも、けっこうあります。たぶん、ここらへんが学校とはちがう「学び」の場なんだろうと思っています。

今、通い始めてから3年たって、自分が何か変わったのかなと考えてみると、基本的なところは変わっていないなあということに気づきました。ただ、フォロに来て、いろいろな視点からこと(ものごと)が見えるようになって、自分が考えていた当たり前のことが、実は(やはり)そうなのかと考えることは多くなりました。よく考えると、不登校自体が、「ちがう視点」からものごとを見ることと、つながっているように思います。

最近のフォロは

女の子が増えて…

秋くらいに新しく女の子が何人か加わって、設立以来男の子の方が多かったフォロの日常風景が、少し変わりました。毎日10人前後のメンバーが通ってきていて、朝イチから外が真っ暗になるまで、おしゃべりやゲームなどでたっぷりとすごすことが増えました。楽しいことばかりでなく、ケンカになったりもめたり……と、いろんなことが多々持ち上がりますが、話し合ったり距離を置いてみたり、試行錯誤でやっていくことが大事だと思っています。また、進学に備えてペースを決めて個人学習をやっている人もいます。

財団の助成で活動の幅が

04年の秋より、大阪府青少年活動財団(ユースサービス)というところから、子どもたちに活動支援をいただいています。とてもきめ細かに、また柔軟に動いていただけるので、いままでは設備の手配・費用の捻出、そして講師の確保などが困難だった海の体験や乗馬、美術工芸分野の活動が、充実しつつあります。春に向けて、より幅の広い支援をお願いできそうで、これからも楽しみです。

最近の企画は…

ここ数カ月の子ども企画から……新しい(ちょっとおもしろい?)ものを紹介します。

花の種をまいて育てる、フリーマーケットに初出店、看護学校の見学、「ふつう」の具の入ったカレーづくり(提案した子の家では、ふだんかなり凝った具のカレーなのだそうです)、パフェを食べに行こう、スタジオに行ってドラムをたたくetc…



なし狩り



シーカヤック体験
(大阪府青少年活動財団支援事業)



2泊3日の東京旅行
(週刊『ジャンプ』編集部にて)



馬に会いに行った (大阪府青少年活動財団支援事業)



花の種をまいてみた

ボイスタイム座談会

今回は、フォロで『ボイスタイム (声優・アニメの時間)』の活動をしている子どもたちの座談をお届けしようと思います。いつもの楽しい雰囲気が伝わればいいなと思い、ほほ手を加えずに書き起こしました。まさに子どもたちの「生の声」を感じていただければ幸いです。

(スタッフ・大濑裕美)

☆座談メンバー ※全員HN/女の子

- (炬)炬 慎也(かがり・しんや)15歳
- (一)夢廻 一夜(むかい・いちや)16歳
- (螢)螢(けい)15歳
- (シ)染月 シュウ(しつき・しゅう)14歳
- (智)真田 智晴(さなだ・ちはる)14歳

(全員)わ～(拍手)はじまりましたね～。

(一)まず、ボイスタイムの説明ですね。毎週月曜日に、好きなマンガなどから自分たちで起こしてきた台本を読んだり、テープに録音したり、という活動しております! いわゆる「アフレコ」ですね。録音する機材もすぐくて。

(炬)助成金がもらえて買って。

(智)わ～、すごいね～♪

(一)なに～、今のしらじらしい!

(シ)まあ、気楽にいきましょうよ～。

(一)とりあえず説明は終わりということで…

(炬)終わりかい!

(シ)じゃあ次に、ボイスタイムを始めたきっかけを…

(炬)きっかけは…ある寒い冬のことだった!

(全員) (笑)

(炬)もう1年過ぎたよね、立ち上げてから。フォロで行った『私のしごと館』で声優体験をした(一)と(炬)は、なぜかトリコになってしまって、フォロでもやってみることにしたのが始まり。「ボイスタイム」という名前を考えたのは自分なんだけど、今思うとまんまじゃん、みたいな(笑)

(一)「声の時間」だね、直訳すると。

(炬)そんな感じで始めて、当初はメンバー3人とスタッフ・ボランティアしかいなかったのが!

(シ)増えた!

(炬)増えたのだよ～。シュウさんとか、螢さんとか、ちーちゃんとか!

(一)こうやって増えてくれたのはうれしいね。

(炬)うれしいですね。わが子が育ったみたいなの…

(全員) (笑)

(炬)それでは、それぞれ思うことを聞いてみましょうか。

(一)では右回りで(炬)慎也さんから!

(炬)え～オレか?! なんだろう、ほとんど台本書き起こしてるの自分だな(泣)もうちょっとみんな書いてくれよ～。

(シ)わかった～書くよ～。

(一)オイラも書いてくるよ!

(炬)頼むよ～。あと、マイクが足りない!

(全員)あ～わかるわかる!!

(炬)もっといっぱい参加してほしいのにマイクがないから。あと3～4本ほしいです!

(全員)くださ～い!!!

※注:キャンオンケーブルで繋げるマイク希望!

(炬)では次、ちーちゃん。

(智)うーん、なんだろう。声を、あてるのが、楽しいよ。(棒読み…)

(全員) (笑)



ゲストに声優の学生さんを招いて

(炬)次、シュウさん。

(シ)うーん、フォロに体験で入って、初めてボイスタイムに来た日に機材が届いて、そんな機材初めて見たからびっくりして。実際ボイスタイムをやってみたらめっちゃ楽しかったです! フォロに入ろうと思ったきっかけがボイスタイムから始まったんだな～とっていて…

(全員)お～～!(拍手)

(炬)ボイスタイムやってよかったね～。では次、一夜姉さんどうぞ!

(一)えー、ここまで長いようで短かった(笑)。最初は役になりきれない部分があったし…ねえ?

(炬)あったねえ!

(一)恥ずかしくて言えないセリフとか。

(炬)今や何となく逆にやばいくらい?!(笑)

(シ)では次、螢さんどうぞ。

(螢)なんだろう? うん、楽しいと思うよ?(笑)

(全員)……それだけ?(笑)

(シ)楽しいからいいじゃないか!

(一)ってか「思うよ?」って疑問形(笑)…ほかには?

(螢)うーん、なんだろう…(延々と悩む…)困った…

(炬)ボイスタイムが困ったというのか?(笑)

(螢)ちがう、ちがう!

(炬)そしたら次～。このニューズレターを読んでる人たちに一言!

(螢)楽しいと思うよ?

(全員) (笑)

(螢)楽しいです!

(一)っていうか、楽しいだけじゃん?(笑)えーっと、えーっと…

(炬)以上、一夜さんでした～♪

(一)え～～～?!

(炬)冗談はおいといて。

(一)えーと、ボイスタイムは…第2の人生?

(全員)(笑)ちがうよー!! 早いってー!

(一)えっと、自分の声を録音して聞くことってフツウだったらないと思うから、面白いことだと思う。

(全員)お～～～(拍手)!

(シ)えっと、ボクにとっては、ボイスタイムっていう時間はすごい大切な時間だし、とっても楽しい時間なので、ボイスタイムという時間があったてよかったなあと思います。

(全員)おお～～～(拍手)!

(智)ちょっと待って、みんないいこと言ったからプレッシャーが(笑)

(炬)大丈夫、大丈夫!

(智)だって、「楽しいよ♪」しか言いようがない…いやあ、いい仲間だね!

(全員)おお～～(拍手)!

(炬)えー、マンガ・オタク・声優・アニメ・ラジオに引かれた人は、ぜひぜひボイスタイムに!

(全員)おお～～(拍手)!!!

おしまい。(2004/12/6フォロにて収録)

☆ボイスタイムシナリオ募集!☆
 このような活動をしているボイスタイムですが、もっとさまざまなシナリオを読んでみたい! ということで、広くシナリオを募集します。キーワードは「ギャグ」「学園モノ」「青春」「美しい話」「アニメやマンガの2次創作」などです。登場人物が5～7人前後で、ある程度の長さがあるシナリオを希望します。送っていただいた方には、ボイスタイムで収録したCDをプレゼントする予定です。ご応募お待ちしております!
 (ボイスタイム一同)
 ※送付先はフォロにお願いします。

スタッフの仕事

大人はついつい、勉強・スポーツ・仲良く友だち付き合い・習いごと・登校・フリースクールに行くなど、子どもが何かをしているのを見ると安心してしまいます。子どもが大人の期待の眼差しが気になり、自分の気持ちにふたをして、がんばって「何かをしている自分」を演じているとすれば、それは、子どもにしてみれば、ものすごく葛藤することだと思います。

実は、スタッフの僕も知らず知らずのうちに子どもたちに何かを期待する眼差しになっていることがあります。子どもの気持ちより、自分の気持ちを優先してしまって、子どもたちにつらい思いをさせてしまうことがあります。そういうときは、後になって「ああ、やってしまった」と後悔してしまいます。

たとえば、どこかへ行く企画があって、その企画に参加すると言っていた子どもが、直前になって「今日、〇〇行くのやめて、フォロでゲームして過ごす」と言うとき、「ええ？ さっきまで行って言ってたやん！」「行ったら絶対、楽しいよ！」なんて子どもに返答してしまうと、すでにそれは、子どもが何かをしていることを期待する気持ちを優先させてしまっていることになります。そのような気持ちを優先させてしまうと、子どもが、そのとき思っていることを話せない状況に追い込められることになります。行く行かないが問題なのではなく、行く



アイススケートに行った

と言っていた子どもが、どうして、直前になって、行かないと決めたのか、子どもの立場や気持ちを考えることが一番大切なことなのに、子どもに期待している自分に盲目的になってしまっているのです

子どもが「何かをしている」ということが大事なのではなく、子どもが「今、ここで、自分の気持ちを大事にできる」ということを子どもの立場を考えて理解する。このようなことに最大限、気を配ることがスタッフの仕事なのではないかと思っています。

でも、これは、頭でわかっているのですが、とても、難しく、何度も同じ失敗を繰り返してしまう、今日このごろです。
(スタッフ・加藤直人)

フォロを応援してください

フォロは、運営費のほとんどを子どもたちの家庭からの会費でまかなっています。しかし、家賃と人件費の負担が大きく、活動が十分に展開できていないのが実状です。「よし、応援しよう！」という方、ぜひNPO会員か支援会員になって、私たちを支えてください。また、すでに会員でいてくださる方は引き続きの応援をお願いします。フォロをいったん辞めたあと2年くらいを経て再び会員になった子もいます。この「場」を続けていくことが大事であることをしみじみと感じています。これからも、応援をよろしくお願いします。

◎郵便振替口座 00900-1-25564

加入者名 フォロ

譲ってください

卓球道具(ラケットやピンポン玉など。最近、卓球ブーム復活です!)、ガラスコップ、マグカップなどなど……。

メルマガあります

フォロでは、どなたでも登録していただけるメールマガジンを月に1回ほど配信しています。Talk-inフォロのようすや、今後の予定などをお届けしています。フォロのHP(下記)から登録できます。

Foro News Letter 第9号

発行日 2005年1月1日

発行者 特定非営利活動法人 フォロ

〒540-0025 大阪市中央区徳井町1-1-3

TEL06-6946-1507 FAX06-6946-1577

mail to: info@foro.jp

URL <http://www.foro.jp>